18日本国特許庁(JP)

10 特許出額公股

⑩公表特許公報(A)

平5-503230

母公表 平成5年(1993)6月3日

(1) Mint. Cl. 1 A 61 B 10/00

識別配号 103 C 庁内整理番号 7831-4C 審 查 請 求 未請求 予備審查請求 未請求

部門(区分) 1(2)

(全 8 頁)

❷発明の名称

検体テストユニット

②特 顧 平3−503280

60型出 頤 平2(1990)12月13日

● 個別文提出日 平4(1992)8月13日 ● 国際出類 PCT/US90/07509 ● 国際公開番号 WO92/10136 ● 国際公開日 平4(1992)6月25日

⑫発 明 者 ネイソン フレデリツク エル

アメリカ合衆国 カリフオルニア州 93610 カマリロ アベニダ

アカソ 941

切出 顧 人 ユーネイソン フレデリック エル

アメリカ合衆国 カリフォルニア州 93610 カマリロ アベニダ

アカソ 941

砂代理人

弁理士 中村 稔 外6名

動指定 閨

AT(広域特許), AU, BE(広域特許), CA, CH(広域特許), DE(広域特許), DK(広域特許), ES(広域特許), FR(広域特許), GB(広域特許), GR(広域特許), IT(広域特許), JP, LU(広域特許), NL(広域特許), SE(広域特許)

清凉の範囲

し、生物学的技体等の課業および分析に使用する技体チストユニットおいて、 少くとも1つのテスト技体をその中に有している技体チャンパモ根定しているハウジングであり、ハウジング部材が互いにぴったりはめ込まれたとき、取 記機体チャンパを協動して規定するための第1 および第2の分離可能な、かつ 互いにぴったりはめ込まれるハウジング部材を含んでいるハウジングと: 技体を採集する技体採集手段とを具備し、

府起第1 および第2のハウリング部材が、育配検体チャンパを開放するための分類可能であり、かつ前配検体対象手段およびそれによって採集された検体 を、前配検体チャンパ内の前配少くとも1つのテスト技体と採集した検体とを 接触するため、前配検体チャンパ内に入れることが可能であるように分割可能

有起第1のハウジングチャンパか、その中に形成された出口ボートと、前記 物体チャンパ内の前記少くとも1つのテスト部体と採集した機体をの接触中、 前起出口ボートを通る旅体の漫通を防止する呼吸と、採集した機体の少くとも 一部分と、それに接触するテスト液体を、分析のため育配機体チャンパから到 起出口ボートを通り前記ハウジングの外部に送り出す機体送り出し手段とを有 している

- ことを特徴とする検体テストユニット。
- 2、前記出自ポートを最る流体の通過を防止する前配甲股が、耐配第1のハウジング部材に直外し可能に取付けられたキャップを具備している際項項1に記載の検集テストユニット。
- 3. さらに、育足出ロポート内に取付けられ、かつ実質的に育足出ロポートを研 じているフィルクを含んでいる第京項 2 に足載の検体テストユニット。
- 4. 育記出口ボートを適る資体の適適を防止する資配手段が、貢配出口ボート内 に取付けられており、かつ頃配出口ボートを実質的に耐じているフイルタを具 借する景味項1に記載の後体テストユニット。
- 5. 育能少くとも1つのテスト液体が、育能ハウジング内に配置されたもろいアンアル内に保持されている環境項1に記載の軟体テストユニット。

- 6. 前記検体課題手及が、前記ハウジングによって保持された結婚部材を具置する情求項 [に記載の検体テストユニット。
- 1. 前配牌2のハウジング部材がさらに、少くとも1つのテスト液体をその中に 有しているテスト流体チャンパと、間配少くとも1つのテスト液体を、収配検 体チャンパ内の検体と接触するため、高配チスト液体チャンパから前配検体チャンパに送り出すテスト流体送り出し手段とを規定している時収項1に配慮の 検体テストユニット。
- 8. 世紀テスト液体送り出し予及が、前配チスト液体チャンパ内の圧力を増加するため、背配第2のハウジング部材を圧縮可能にするように前配第2のハウジング部材を規定している十分使形可能な材料と、前配第1のハウジング部材が圧縮されたとき、何配デスト液体チャンパから前配検体チャンパに、背配少くとも1つのテスト液体の流れを可能にする通路予数とを具備している情味項でに配慮の検体チストユニット。
- 9. 前記道館学校が多礼性フィルタ部材を具備する前求項目に記載の技体チスト ユニット。
- 10. 前配多孔性フィルタ部材が、選択した試画を予め合復されている請求項目に 配数の検体テストユニット。
- 11. 資配少くとも1つのフイルタ部材が、採集した機体の連続通路に対して配置 された少くとも2つの資配フイルタ部材を基備し、少くとも1つのフィルタ部 材がその中に予め合汲された試験を有している環境項14に影動の機体テスト スニット。
- 12. 前記後体送り出し手続か、採集した検体を前記チャンパから前記フイルタを 通り収入する手段を具備する間吹引1に記載の検体テストユニット。
- 18. 生物学的検体等の採集および分析に使用する検体テストユニットにおいて、 検体チャンパを規定しているハワジングと;

地域を探察する地体提集手段と:

少くとも1つのテスト技体を、チャンパ内の技体に接触するため質配技体を

- +ンパに通り出す容配ハウジング上の手段と:
- 前記ハウジングは、前記後体チャンパから前記ハウジングの外部材へ導いて

いる出口ボートを紹定している。

可配少くとも1つのテスト洗体と機体の接触中、液体を放出する収配出ロポートを関じる手段と、

検体および前配テスト液体の188分を、さらに他の分析のため前配出ロボートを通り前配ハウジングの外部に送り出す手段と を通り前配ハウジングの外部に送り出す手段と を展備することを判徴とする検体チストユニット。

明城書

紋体テストユニット

発明の背景

本発明は、一般的に、被体に関して限々の医学的テストを行なうための生物学 的技体を成果するのに使用される耐式の医学的維持等の改良に関する。さらに詳 細には、本発明は、1またはそれ以上の試験を有している改良した。かつ実質的 に独立の機体ユニットと、医学的テストを実践中に試験および依体を取扱う改良 した手段とに関する。

一般的に医学的總額は、さらに他の分析のため患者から生物学的機体を採集するのに使用するため当技術においてよく知られている。そのような医学的総律は、過常細長い神または他の「端に撤退質の精能チェブを具備し、その確または他が、たとえば患者の耳、鼻またはのどから持た器摂した動態細胞または他の生物学的検体と維持チェブとを検触するため手で扱われる。その結果、民種の生物学的検体のいくつかが、結婚チェブに付着し、それが次に、たとえば胸原度の存在。あるいは患者の内状に関する他の信報を指示するため、「またはそれ以上の銃翼と機能できる。このテストは温常、たとえば、変光テスト、静歌テスト、モノクロナル(Connecional)ベースのテスト、推着テストを含むそのような患者の検体を用いて行なわれる。

概率依然によれば、禁機された生物学的検体は、標準的に維伸チャブから、急 択した試測との接触およびさらに他の分析のためスライドまたは試験管等のよう な他の演奏変器具に移される。しかしなから、正確なテスト結果を保証するため、 総律チャブから実験由のスライド等に十分な検体の量を移すことはしばしば能か しい。さらに、多くの場合に、採集した検体は、選択した分析実施のため医学実 験所に選ばれなければならない、しかし検体採集の時間と実際のテスト実施との 関の遅れが、部分的にまたは完全な検体の乾燥を生じ、それによってテストの信 賃性を耐少することがある。

機体と試現との間の接触を向上しようとして、あるいは、他の方法では、歴学 実験所等への採集後の確述中検体を維持しようとして、理々の結構採集技能が摂 集されてきた。そのような結構採集整度は、結構上に採集された検体に検触する

1 またはそれ以上の試算と共に機能を先に付けた結構を含んでいるコンパクトな キットの形で提供されてきた。いくつかのデザインでは、試算は、もろいガラス アンプルによって保持されており、そのアンプルが適切な時に確られて、結構キップ上の検体と複数するための試算を解放する。他のデザインは、検体に接触するため電切に解放する破裂可能なプラスチックセル内に試画を用意していた。しかしながら、これ等の従来の標準接種のデザインは、採集した検体からの粘度および他の非成体の破片のような粒子を減過する有効な手段を備えていなかった、この場合検体のそのような濾過は、信預できるテスト結果を得るための必要要件であることもある。さらに、これ等の従来の張重は、テスト患者を探集した検体またはそれに関準した試算に不必要に接触する危険にさらすことなく、いくつかのテストで要求されるような、さらに他の分析のため、装置から基合した検体および試真の比較的容易な送り出しをするように統計されていなかった。

したがって、実施されるべき特定のテストによって要求されるような、採集した検体および/または試悪を推過するための比較的簡単な、しかも有効な推過手段を有している検査された検体テストユニットに対する重要な必要性が存在する。 さらに、テスト思考による情態の危険なく安全に採集した検体および関連する試 要を取扱うように設計された検査されたテストユニットに対する必要性が存在する。 本発明はこれ等の必要性を過たし、かつさらに関連する利点を提供する。

会明の概要

本発明によれば、たとえば、患者から生物学的検体等を得慮するのに使用する 改良された検体ユニットが提供される。本発明は、しまたはそれ以上の選択した 試載を、選択した医学的分析を行なうために採集した検体との直接検験に使用する も比較的物単かつ有効な機能を含む。フィルタ手段は、行なわれるペキテストの 必要要件によって純菓および/または検体を連過するために設けられている。

本発明の許ましい形式によれば、使体チストユニットは、たとえば、緑緑部対 の1面分と通常した患者の組織、細胞、体核等と復独機能することによって生物 学的技体を採集するのに使用するようになっている因品・純粋部分を見信する。 緑神部材の1輪は、全体的にシリンダー状ハウジング部材の1輪内に取付けられ た多孔性プラグの形の多孔性フィルタ部材内に固定されている。少くとも1つの 選択した試事が、もろいガラスアンブル内のようなハウジング配材内に保持されている、この場合、試賞はアンブルを破砕するハウジング配材の適切な曲げ変形によって解放できる。解放された試賞はそれから十分にハウジング部材を圧縮して、試算を多れ性ブラグを選り使し、排除無材に無効させることによって、結婚部材に送り出すことができる。適切な純粋部材の方向づけによって、試験は結構に沿って流れ、採集した性体に直接接触する。多れ性ブラグは、アンブルのガラス性子を安全にハウジング配材内に維持する。

本発明の好ましい形式では、フィルタブラグは、たとえば、プラグに試験を予め吸収させ、そしてハウジング部材にブラグを超立てる背に、プラグ内の試塞を乾燥することによって、潜伏した試理を予め合便される。あるいはまた、異なる試薬を支援した多食を利性フィルタブラグは、ハウジング部材を圧縮したとき、フィルタブラグを返り押し出された選択したテスト放体と試賞との虚り接触を生するように、ハウジング部材内に増と増をつないで取付けることができる。そのような場と関をつないだフィルタブラグは、そこを通る連続的液体の進れを保証するように有利に維那に合わせて作られている。さらに、どのフィルターブラグ、テスト液体が、ウジング部材の圧縮によってそこを通り圧力で停し出されるまで、テスト液体の過去を妨げる液体シールを模定するため、液水色または非過低に解放されてもよい。

本発明の他の好きしい面によれば、シリンダー状キャップが、結構館材を包んでいる位置に、ハウジング部材に実質的にシールして取付けるように続けられており、それによって結構は、使用まで無悪状態のパッケージ内に維持されることができる。このシリンダー状キャップの1億は、1またはそれ以上の追加の多孔性フィルク部材によって閉じられてもよい、その中の1つは、キャップから液体の適ばるのを防止する液体シールを溶神風定するため、疎水性材料から影成されてもよい、そしてさらにこの場合、これ等のフィルク部材に、近加の試薬を予め含量されてもよい。したがって、キャップかハウジング部材に取付けられたとき、設備または他のテスト液体は、ハウジング部材から絞り出されて、結構部材上の 検に液域し、キャップ内に混合した検体とテスト液体の減集を生ずる。さらに、ハウジング部材およびメまたはキャップの圧縮は、たとえば複数室のスライド上 に、あるいは所望により、採集した後体に接触するなお他の試策を保持する補助 カートリッジ内に、施伏で混合した後体およびテスト液体を有効に絞り出すこと ができる。この開助カートリッジは、普通の構造の、あるいは所望により、他の 多孔性フイルタフラグの形の鉄出側形成器を含んでもよい。あるいはまた、補助 カートリッジは、混合した後体およびテスト液体がたとえば光学的被出設度によって次の分析のため送り出されるガラスびん等を組み込んでいてもよい。

本発明の他の特徴および利点は、実施例により、本発明の原理を例示している 診性図面と共に行った下記の詳細な説明からより明らかとなるであろう。

関節の悪巣な説明

部付回面は本発明を例示している。そのような関面において:

園1は、本発明の新城な特長を具体化している検体テストユニットの1つの好ましい機成を保示している分解解検閲である:

図 2 は、大体において図 1 の 2-2 娘で切断したときの拡大部分新型図である:

図3は、大体において図1の3~3輪で切断したときの拡大部分断面図である:

図4は、生物学的検体発掘のときの本発明の使用を例示している多少機略的な 図である:

図5は、テストユニットにより保持された試験を解放するときのステップを例 示している斜視圏である: 図8は、斡線部は上の採集した住物学的検体と直接 接触するため、純機部はへの解放された試器の減過移動を示している拡大立面図 である:

■ 1 は、大体において図 8 の円で囲んだ領域に対応している拡大部分級新面図である:

越 8 は、本発明の 1 つの他の好ましい形式を例示している部分的量率方向断面 図である:

図9は、本発明の他の好ましい形式を例示している長季方向の断面圏である; 図10は、本発明のなお他の好ましい形式を示している最季方向の新面圏であ 3.

関11は、テストユニットと組合せて使用するシーリングキャップを含んでいる。本発明のさらに他の様成を示している拡大部分新遊園である;

本発明の改良した特体テストユニット10は、思考から得られる組織、細胞、体液のような生性学的技体を採集しテストするための比較的情報、かつ社立の関品を増えている。このテストユニットは、臨床検索スライド、試験哲学のような追加のナスト復産を必要とせずに、採集した技体と、1またはそれ以上の選択した対象との実質的、かつ完全な機能手段を備えている。広範囲の限々の選択したテストが行なわれ、そしてその結果がテストユニット内の選択した場所で直接検取ることができ、そのチストは、全アストユニットは使い格で品目として捨ててもよい。あるいはまた、技体および構造したテスト流体は、実験者または他の人々を不必要に技体または関連する試高に集らすことなく、さらに他の実験分析等のためチストユニット10から安全かつ有効に送り出すことができる。重要なことは、行なわれるべき特定のテストによって要求されるような、テストユニット内の理べの股階において選切な技体の成過を行なうために、テストユニット10が使用される、しかし限定ではないテストの実施例は、生かテストユニット10が使用される、しかし限定ではないテストの実施例は、生かテストユニット10が使用される、しかし限定ではないテストの実施例は、生かテストスト、両案テスト、モノクロナル(senoclonal)ベーステスト、使者テスト等を含む。

本発物の1つの好ましい形式に関して、第1ないし図7に詳細に示したように、 検体テストユニット10は、使用中、容易な手機作のための全体の大きさおよび 形状を有している細長い、比較的薄い酵具を構成している。 きらに評価には、テ ストユニット10は、第20の前端に巻かれたまたはさもなくば適切に取付けら れている結、ダクロンまたは他の吸及性機能材料の結構テップ22を支持してい る場長い何または軸20の形の図1に示された解離部材12を具備する。 第20 は、医学的環境に使用されている普通の機能の構成に大体において対応する比較 的整いが多少可機能な機成を有するようにプラスチックまたは他の適切な材料か ら形成まれている。

継線の桁20の後部橋は、多孔性フィルク部材またはプラステック25内に形成された狭い着ぐり穴24内に固定されている。この場合、フィルク部材はさらにテストユニット16のためのハウジング部材14内に取付けられている。限1 および図2に最もよく示したように、ハウジング部材14は、閉じた後部扇動1 四12は、図11の実施例の使用を示している機能面図である;

図13は、さらに他のシーリングキャップなよび極助点機器カートリックと輸合すて使用するテストスニットを示している分解断面図である;

終しませ、図13の実施例の使用を例示している拡大部分所面別である:

図15は、補助点適器カートリッジからの流体の絞り出しを示している解模器 である:

図1 5 は、補助点演器カートリッジの他の構成を例示している部分新画図であま。

図17は、本発明により形成された技体テストユエットの他の機成を示している分解料権関である:

図 [8 は、図] 7 の実施例の | 部分の拡大部分級新面図であり、採集した生物学的技体を取扱い処理するときのその使用を示している:

□ [9 は、本発明のなお他の構成を示している他の分解斜極度である:

図2(は、チストのための液体をたは疲体を含んでいる検体を強引する図) 9 の乳酸素の使用を示している候様立面図である;

- 題21は、図19の実施例を使用して、採集した検体に推放するための対象の 解放を例示している解検図である:

図2 2 は、図1 9 の実施例からの体操した検体および試集の送り出しを例示している斜極関である。

好ましい実践例の詳細な説明

例示的な図面で示したように、図1に全体的に参照書号10によって示された 改良機体テストユニットは、生物学的技体を採集するのに使用するためおよび様 集した技体に関する医学的分析のような選択したテストを行なうために提供され でいる。テストユニット10は、1またはそれ以上の製業18または他のテスト 液体を存している大きくしたハウリング部材またはベース14から発出している 純維部材12の組合せを具備している。1対のフイルタ部材18初よび19のよ うな少くとも1つのフイルター部材が、選択したテストに要求されるような試業 および/または執体の重視のために、かつ本順により弊難に配送されているよう に、テストユニット10内に能み込まれている。

4 と、フィルタ部材を5の移動的すべりばめ収容のための開いた範囲輸出を重 えた金体的にシリンダー状中空構造を有している。フィルタ部材を5は、最初に もろいガラスアンブルを8内に入れられた試塞16のような少くとも3つの試施 を入れるための実質的に関じた試塞チャンパを8を規定するためハウジング部材 14と協義する。

シリンダー状キャップ30が、独体テストユニット10の一部分として設けられており、そしてハウジング部材14の開いた前部場内に部分的に延びており定理関係に結構部分12上に適合する後方に関いた標準を育している。この閉じた機成では、キャップ30は、何20と、網番チップ22とを含んでいる精神部材12をカバーし、保護しており、それによってテストユニット10に、初めに閉じた協画の状態で結婚12を供給可能にしている。これに関しては、キャップ後部組のすべりばれ収容に適応するため、フイルタ部材23はハウジング部材14(図2)の前部場内に僅かに差込まれる。あるいはまた、キャップ後部場は、ハウジング部材14の前部場にすべりばめするように大きさを決めることができる。医学的テストの実行が望まれるとき、キャップ30か途やかにかつ容易にハウ

ワング部材 1 4から取外されて、医学的液体を採集するのに使用する議等部材 1 2 を買出する。さらに詳細には、図 4 に匹勢的に示したように、講像チップ 2 2 を、たとえば、患者ののど 3 4 内に存在するかも知れない組織または報題または他の生物学的材料 3 2 に接触するように動かして、それを集めるため、テストユニット 1 0 は手で操作できる。あるいはまた、広範側の限々の他の形式の生物学的または他の検体が、行なわれるべきテストまたは分析により採集することができる。異雄の明 2 0 は、検体採集に適合するのに十分な働げ他力を定時備えており、一方また検体採集中に、超減または細胞に圧力を加え、あるいは復参取ることができるのに十分な壁さを何えているのが好物をである。

一旦機体が結婚チップ2 2上に採集されると、テストユニット 10のシリンダ 一枚ハウジング部付14は、試象チャンパ2 8内の試施の入ったアンプル2 8を 受済するため、曲げるかまたは圧縮するか、あるいはさもなくば質形することが できる。このために、ハウジング部付14は、この変形に連合し、それから弾性 めに実質的に参切の非変形状態に戻るのに十分な可能性を有しているプラスチャ ク等から保成される。図5に示したように、アンブル28が戦時されると、その中の拡減、ドが、結構チャプ22に採集された検体に送り出すため解放される。この送り出しは、図6および図7に示したように、フイルタ部村25の開放多利性性の組織を通り液体拡張をドライブする。すなわち押し出すのに十分なまで試選チャンパ28内の圧力を増加するため、図8に示したようにハウジンク窓材14の例型を手で押すことによって確成される。この試風送り出しステップ中、テストユニット10は、試験を研28に治って下方に満下し、結婚チャプ224 よびその上に採集された核体と直接検触せしめる実質的に最適な位置に常時向けられる。

多孔柱のフィルタ部材 2.5 は有限には、試験1.4を、アンブル財政のともハウ ジング部材14内に残っているガラス位子および破片35(図7)から分離する。 したがって、ガラス位子および破片 8.5 は結構の研2.0 に沿って前下せず、結構 チップ2.2 に接触しない。それによりガラス破片は選択したテストの表行を妨げ ず、そして安全性を描なわない。これに関して、好ましいフィルタ部材25は、 典型的に、約3ないし約10ミクロンの範囲内の大きさの粒子を放送する前割さ れた多礼性を有している吹込成型ポリエテレンプラスチックまたは樹脂のような。 放松プラスチェクフィルタプラグ材料として形成される。 そのようなフィルタブ うがは、たとえば、パージニア州、フエアパーンのボレックス・チクノロジーあ るいは、ニューヨーク州、ブルックリンのクロメックス・コーポレーションから 商業的に大手可能である。さらに、図 8 および図 7 に示したように、テストユニ ット10が接近に向けられていると会、基準チップ22に規則する終準の何2B 上の武器の抗れを保証するため、ブラグ25の資部略36は、試験の流れを悟 20上に案内する金体的に外方に向いた凸面を規定するように丸味が付けられて いる(図?)。武楽を結律チップ??に送り出すこのステップは、標準的に、結 伸布材] 2 の見りにルーズに保持されたシリンダー状キャップ 3 0 によって行な われる、それによりキャップ80は、結構チップ22から施下する会分の貧寒を 差めるのに使用できる。

種々の特殊なテスト使用によれば、ハウジング割材14内のアンブル28は、 連択したテストの必要製件によって、水、食塩管液等のような温度溶液を含んで もよい。この場合には、フイルタ部材 2 5 は、たとえば、ハウワング部材 1 4 内 にプラグ取付的に乾燥させておかれるプラグ 2 5 に、選択した試露を予め扱わす ことによって、選択した試変を予め含使することができる。次に、プラグ 2 5 を 通る混割間の通り出しが、乾いた試震を、資迷と同じ方法で健操の例 2 0 に沿っ て前掛チップに移すため溶液の形状に変える。

チストユニットの締備部材のいくつかの他の実施例が、図8ないし図11に極 略的に示されている。この場合、図1ないし図7に示されたのと同じ構成技業は、 類心整要素品によって最高れている。さらに詳細には、簡単に示したように、シ リンダー状ハウジング部封14は、もろいアンブル28等内の対象18を含むが、 この実施例では、多重フイルタ部材125およびし28か、ハウジング部材14 内の試棄】5または他のテスト液体の連続通路に設けられている。さらに詳細に は、第1のフイルを部材125かいウジング部材14の資料適内に収収され、か つ結構部計 1 2の情 2 0 の差込み(seated)収容のための狭い前部建ぐり穴 1 2 4 を含む。しかしなから、この第1のフィルタ部材125はさらに、その背面に、 第2のフイルタ部材126のテーパー付先端130のすべりばめ収容等のための 狭い強ぐり穴128を有している。これ等のフィルタ部材125および128の 双方は、そのテスト施体がいウジング部材から絞り出されるとも、無端 1.6 また は他のチスト連体と連続複数のための異なる拡張を予め合理できる。さらに、第 2のフィルタ部材126は、ハウジング部材が試薬16を絞り出すため圧縮され ない、そして圧縮されるまで、有効な液体シールを与えるのに十分な除水性の材 料から形成できる。第2のフィルタ部材(26の着弊に合わせて作られたまたは テーパー付きの先降13日は、第1のフィルタ部材125の限りの最後によるよ りちむしろ、第1の部材し25を理論的に通るテスト液体の透路を保証するのが 好都会である。さらに、双方のフィルタ部材125お上び118は、好都会には、 図】ないし図7に示されたフィルタブラグ25と銀収の多れ性フィルタブラグと して構成されてもよい。

図9に示された実施例では、簡易化した維持部材212か、ハウジング部材14の前額端において多孔性フイルク部材25から前方に突出している吸収ロッド42は、ロッドの長さに

沿った任意の好都合な位置においてそのロッド上に検体を頻繁するのに使用できる、その後、試画16岁たは他のテスト施体が、前述と同じ方法でロッドに絞り出される。しかしなから、試験は、ロッドに沿って流出するのみならずまた採集した機体に接触するために、ロッド内に浸透する。勿論、所顧により、図6に示したように、多重フィルタ部材が連続テスト液体過路に適合されるようにして、その中に予め会議した試集を有している1またはそれ以上のフィルタ部材が使用されてもよい。

本発明のさらに他の実施例が回) 9 に示されている、この場合には、さらに変更された結構部材 3 1 2 は、多孔性フィルタ部材 2 5 内に固定された後部線を有している中空結構の構 3 2 0 の前部地は、所望の検体の採集のための期毛を有しているプラシ 4 6 の短い取付ステム 4 4 を収容する。故匿 1 6 は、回 1 ないし図 7 に対して前述したのと大体において前じ方法で、フィルタ部材 2 5 を遇り較り出され、維練の構 3 2 0 の周りを通り遅れて、プラシの用毛に検験する。しかしながら、熱棒の精内部を遭り強れる試験は、プラシの用毛に検験する。しかしながら、熱棒の精内部を遭り強れる試験は、プラシの用毛に検験する。といしながら、熱棒の精内部を避りされて3 0 を退り割り前の部から約出できる。連続テスト微体退路に適合した多量フィルタ部材が、特別により繋げられてもよい。

図11は、キャップ3をと密封係合するため、ハウジング部材14内にキャップシールリング52を含み、それによって使用資の製品の無理を保証している本発明のさらに他の形状を例示している。この実施例では、ハウジング部材14はまた、結構部材12の映器単位収容し固定するため資価をたけた場に供い値でりた24を有しているを孔性フィルタ部材25のすべりはめ収容のための関放資部場を有している。勿論、図1ないし図7に示した種々の結構部材のどれでも使用できる。シールリング52はまたハウジング部材14の前部網に固定されており、そしてフィルタ部材25の最高部面に対し当接しているシリンダー伏ベース53を含む。このベース53は、ぴったりとハウジング部材14内に収容されており、そして減少した適量サイズの百方に実出している環伏リップ54に整合されている。このリップ54はハウジング部材14の内面と協働していて、シリンダー状キャップ30の最後部級のぴったりと合った、実質的にシールされた収容のため

の町方に開放した様状くほみを規定する。したがって、シールリング5 2 および キャップ3 0 は、少くともキャップが取外されるまで、結構部計 1 2 の保護状態 を維持する高度のシールを限定するように協能する。

図1ないし図11に示したような、斡修部材の特定の選択した構成に関係なく、 、解集した検体は、図12に示したように、シリンダー状キャップ30の座部に 被体標的56を形成する試査を含むテスト機体に接触しかつそれと協合される。 重要なことは、シリンダーキャップ30の下方または維部30°が、図面に示された運列に取付けられた対のフイルタ部材18および19のような少くとも1つの選加の修孔性フイルタ部材によって割じられていることである。小さい機部キャップ21(図1)がまた、テストユニットの使用質にフイルタ部材18および18を提出したが高に常時刻けられている。最下部のフィルタ部材18は、キャップ30から値かな量さを提出しており、そして図面にボした半球形の種類のような 丸い偏称で挟っている。双方のフイルタブラグ18および19は、所要により、 選択した試査で予め合理されてもよい、そしてフイルタブラグ18および19の 一方または双方は、キャップ30内から操体の漏洩を高時防止する機体シールを 規定するため尋水性を有していてもよい。

キャップ80内の議合した検体および試験置か56は、さらに他のテストの表行のためフィルタ部材18割よび19を通り絞り出すことができる。さらに辞細には、約19に示したように、キャップ30は、その上程または関前場をハウジング部材14上に再固定できる。この構成では、ハウジング部材14上に再固定できる。この構成では、ハウジング部材14上に再固定できる。この構成では、ハウジング部材141よび/またはキャップ80もまた、混合した試験および体体56をディルタブラグ18および19を通り数り出すため圧線できる。液体のそのような飲り出しば、検体および/または試験を有料に適適し、そしてもらに検体と、フィルタ部材18および(9によって保持された任意の適加の製造との接触をする場合をする。フィルタブラグ19の丸くなった関節維持額の製造との接触をする場合をする。フィルタブラグ19の丸くなった関節維持に関し、たとえばちらに他の実験電分析のためスライド単(図12には図示せず)上に置くことによってさらに他のテストを受けることができる。

本発明は、图13名上び思14に示したように、キャップ30の外方槽30°

1

から少し亜種を輸してフイルタブラグ!8および!9を使入することによって抽 動小浦カートリッジもりを使用するようにすることができる。これは、シリンダ 一状カートリッジ 8 0 内に収容された普通のデザインの維形成器 8 2 を有してい るシリンダー状カートリッジを3の関放機内に、キャップ外方端30%をぴった りと実質的にシール関係に収付可能にする。所望により、なお他の試養がカート リッジ 8 0内に入られてもよい。したかって、このように変更されたユニットは、 カートリッジ80内の拡張と混合するため、フィルタプラグ18分よび19を決 りそしてさらに補務成群62を通り小橋58を絞り出すのに使用できる。混合し た技体および試棄はそれからさらにカートリッジ 5 0 から個々の小海 5 €で、同 15に承したようにさらに他の分折のためスライド 86等の上に絞り出すことが できる。あるいはまた、変更されたカートリック80は、肉18に示したように、 歯形成器構造体として他の多孔性フィルタ部材またはプラグ88を含んでもよい。 本発明のさらに他の概要された形式が盛!1台よび回!8に示されている。こ の場合、郵送の実施例と同一の構成要素はまた同じ参照書号によって示されてい る。この様式では、ハウジング部材 しももまた、多孔性フィルタ部材 2.5 も通り、 たとえば何2日および吸収チェア22を育している納部材12等に絞り出すため の、戦闘可能なアンブル28内の試験または他のテスト統体を含む。関放軸機器 のシリンダー状キャップ30が経過回状12をカバーし、保護するためハウジン グ部材1.4上に取付けるように設けられており、そして例示的なプラグ1.8 およ び19のような、1またはそれ以上の軸線方向に抜入した多孔性フィルタ部材を 有する外方強3 6'を含む。

図18に最もよく示したように、キャップ30の外方場30°もまた小さいシールリング52°を保持しており、これは図11に関して図示し設領したシールリング52°は、小さいがラスびん10等の開放上回場と正常のシール研合および単版ばめするようになっている。外方道部キャップ12は、標準的には、ガラスびん10をカバーし保護するため、キャップ30の外方端30°上に取付けるように設けられている。標準構造では、始到材キャップ72およびキャップ30は、プラステック材料から形成される。

2.3.0が締締部材1.21から取外される。この吸入ステップ中、間2.0に示した ように、ハウジング部計しも、の可機性プラスチック量が最初に内方に圧縮され、 それから解放されると、彼体は長初に修通のため結構チップ 2 2 を通過するよ うにして、検体を吸入する。それからアンプル28か破砕されて、値21に示し たようにその中の試賞を解放できる、続いてハウジング部材しょ。を反転し、ハ ウジング部材 1 (* の佛堂を遊切に内方に圧縮するとき、図 2 2 に示したように、 多孔性フイルタ部材 8 0 を通りハウジング部材内の混合した技体および貧重の数 り出しを可能にする。 したかって、本発明の検体テストユニットは、各々が 1 またはそれ以上の多孔性フィルク部材を組込んでいて、それを通り役状物はお上 び/または飲寒が絞り出される様々の異なる様成を提供する。これ等のフィルタ 部材は、行なわれるテストによって要求されるとき、試賞および検体から粒状物 を構造するための簡単な、しかも非常に有効な平段を提供する。種々の実質例の 中のどの実施例でも、フィルケ部材は選択した試賞を予め合併することができる。 テストは果は、たとえば、フィルタ部材または純果物材の任意のものの上のよう な種々の位置で比色剤定度化等を観察することにより、あるいはきらに他の分析 のために、混合した貧寒および独体をスライド等の上にデポジットすることによ り、容易に直接跳取ることができる。

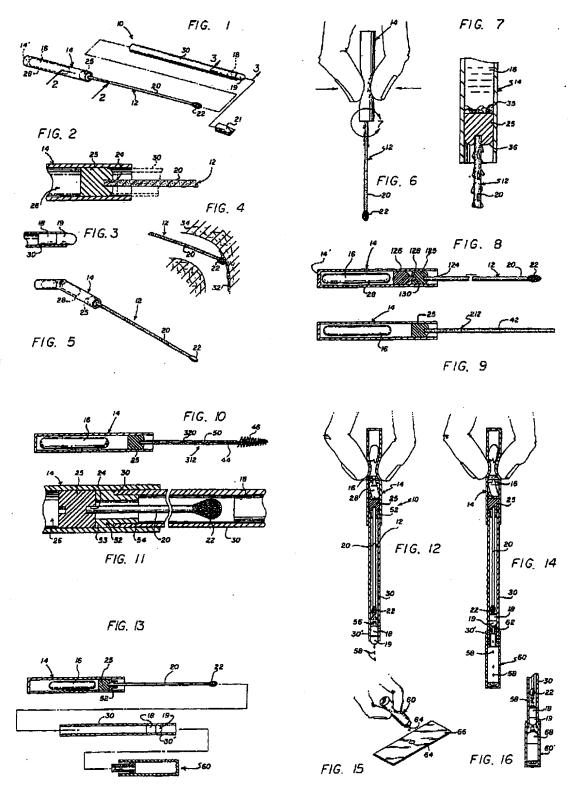
本発明の使用の1つの例示的な実施例として、直接抗原テストが途中かにかつ 容易に、そして目標とする指言およびまたは使用される試施に実験患者の露出の 機会を最小にするような方法で行なうことができる。1つのそのような直接技術 テストは、網別Aの検出で知られている、この場合、機嫌部材は技体を提集する のに使用できる。数体はそれから通切な連続の試案と接触され、違過されて、た とえば、多孔性フイルタ部材の1つの表面上にある比色到定程示を生ずる。勿験、 本発明が安全な技体の取扱および適切な試業の長期保存のための非常に使利な、 独立のキットを備えていると、広範囲の異なるテストを行なうことができる。 技体チストに対する機をのさらに他の変更および改良は当業者に明らかであろう。 たとえば、1つの形式では、所知の多孔性構造を含んでいる吹込み特性を有して いるフイルタ部材が、ウジング部材等と同時にかつ一体に形成することができる。し

図17および図18の実施側の使用の場合、検体は、本郷に前途したように採 集され、それから、純様チップと2に接触するためハウジング部材14からのチ スト機体16の選切な扱り出しによって、しまたはそれ以上の試験に接触される。 **連合した技体および試塞はそれから、また前述したように、フイルタ解封:8.42** よび19を通り絞り出すことによってキャップ30から送り出すことができる。 この様式では、しかしなから、混合した技体および試集は、ガラスびん! 0 内に 送り出される。ガラスびん70はそれから、たとえば、汚染度、色等のような塩 合検体プテスト液体の選択したパラメータを破取るため、適切な光学的検出装置 等内に置くことができる。重要なことは、ガラスびん10か、人事でひんに触わ る必要なく、蟾都キャップ??を取外し、そして光学的検出装置の検査権所にデ ストユニットの教りを聞くことにより、光学的検出装置内に聞くことができるこ とである。この手項は、テスト放取りに思影響を及ぼす指紋がガラスぴんに付く のを有利に防止し、かつまた人と検体および試事との特殊を防止する。あるいは、 また、所望により、ガラスぴんは、韓郎キャップ12を繰り内方に圧縮すること によってキャップ30から分離でき、そして両方の構成部品を同時にキャップ 80から取外すことができる。

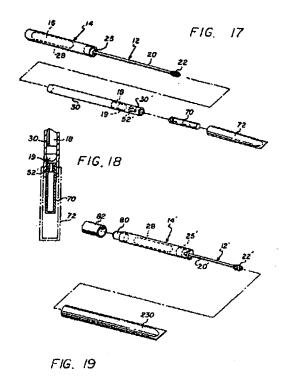
本発明のさらに他の変更した形式が図)9ないし図22に示されている。この 場合、本発明のこの形式は、文神した前縁部材12"に対しハウジング部材14" の周部から成合した検体および放置を契り出すように設計されている。さらに詳 総には、図18を参照すると、変更したハウソング部材14"は、ハウソング部 材内にアンブル28等に入っている試漏を保持するため、一方の地部に中主支持 部材25"を育し、他場で多孔性フイルタ部材80と図像している場部別数据型 である。中空チューブの訓練の例20"は、支持部材25"に連絡している上部 増と、多孔性吸収チップ22"を保持している下部増とを有している。細是いキャップ230は、網絡部材12"上をハウジング部材14"の1個に適合するようになっており、そしてより吸い場部キャップ82が、ハウジング部材の物場に おいて第2世でフィルタ部材821に減合するようになっている。

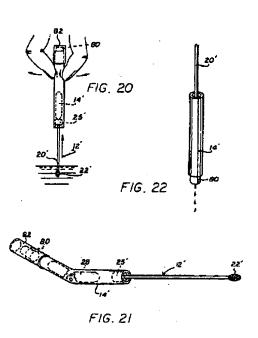
使用の場合、療状検体または液中に保持された検体を複雑の柄で 0°を通り吸収によりハウジング部材 14°の内部内に吸入可能にするため、細長いキャップ

たかって、孫付の秀水項の記載を除き、本職の説明および然付薗面によって本発明を確定する景茂を有していない。



6 -





思考から生物学的技体等を採集するのに使用する改良された検体ユニットに関 し、1またはそれ以上の選択した試集を、選択した医学的分析を行なうために採 集した機体との直接接触に使用する比較的簡単かつ有効な数量を含む。フィルタ 手限は、行なわれるべきテストの必要要件によって試異および/または検体を施 通するために設けられている。検体テストユニットは、たとえば、維修部材の1 却分と選択した患者の組織、提脱、体核等と直接接触することによって生物学的 検体を採集するのに使用するようになっている細長い維持部材を具備する。純幹 却材の1個は、金体的にシリンダー状パウジング部材の1個内に取付けられた多 孔性ブラグの形の多孔性フィルタ部材内に固定されている。少くとも1つの選択 した緊張が、もろいガラスアンブル内のようなパウジング部材内に保持されている。この場合、試異はアンブルを破砕するパウジング部材の適切な曲が無形によって将数できる。解放された試養はそれから十分にパウジング部材を庇袖して、

政策を多孔性プラグを通り流し、精神部材に接触させることによって、精神部材

に送り出すことかできる。

国际异意报告

	- James Completion function	
U.S.	\$22/30, 37, 38, 61, 103, 202; 435/21, 294, 225,295,800; 128/2, 730	_
	High provide High Seath 100 could like Statemy Edispersonal in a 100 Copped time each is Document to Oth Conjusted As I for Explice \$6 proping \$6.	
N. DACHMATTS COSTINANT TO M STATUATE		
		From within to
		7
*	US.A. 4.903.708 (SATHY-AHAND) 27 February 1990. See entire disclosure.	1-49
Y	Mr.A. (.255.)]] (NEWMEN) 19 October 1992. See entire disclosure.	1-29
5	US.A. 4.562.033 INTHEEN ET ALI 31 December 1985. See motire disclusure.	1-49
Y	wit, 4,300,910 (PANNUTT) 17 November 1981. See untire document.	16-18.24. 36.41.
"	US.A. 4.835.485 (MREMEA! 13 January 1987. See the Abstract and Figures 7-12.	15.22.40
۲	UE.A. 4.039,404 (SCHUSTER ET NEI 23 Movember 1977, See the Abstract and Figures.	21
11年代は	Contract to the description of the second of	

A US.A. d.707.450 (MARON) 17 November 15 Black to Charles and the state of the stat